

2022年7月4日(月)

岩手日日新聞に掲載していただきました。

7月4日(月)の岩手日日新聞に、PFSC 同好会のフードドライブ活動について記事を掲載していただきました。

## 缶詰、レトルト 困窮者へ フードドライブ 花北青雲高が支援

フードバンク岩手に届ける食料品を仕分ける花北青雲高の3年生



**花巻** 花巻市石鳥谷町の県立花北青雲高校(佐々木伸良校長、生徒426人)は、食品を必要としている困窮者などに提供するNPO法人フードバンク岩手(盛岡市)の「フードドライブ活動」を支援している。1日

は生徒たちが校内で保護者らから集めた食料品の仕分け作業に取り組んだ。食料品は5日に同法人に届けられる。

支援活動は2021年度から行われており、ボランティア活動に取り組みPFSC同好会が主導して実施

同好会の小原安未伽部長は「貧困に悩んでいる人を助けるために自分も何かしたいと思いついた。たくさん種類が集まってくれたい。この活動が多くの人や団体に広まってほしい」と願っていた。

同校では冬休み前にもフードドライブ活動の支援を行う予定。同好会顧問の青木ゆり子養護教諭は「この活動が地域住民への支援や食品ロスについて生徒たちが考えるきっかけになれば」と話していた。

生徒たちは6月16〜27日の期間、生徒や保護者らに食料品の提供を呼び掛けた。缶詰やレトルト食品など長期保存が可能な食品76点が集まり、仕分け作業では生徒たちが消費期限などを一つずつ確かめながら分け、段ボール箱に詰め込んだ。

している。22年度は総合生活科3年生6人が参加した。

生徒たちは6月16〜27日の期間、生徒や保護者らに食料品の提供を呼び掛けた。缶詰やレトルト食品など長期保存が可能な食品76点が集まり、仕分け作業では生徒たちが消費期限などを一つずつ確かめながら分け、段ボール箱に詰め込んだ。